

リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

【取組内容】① 個別最適な学びと「協働的な学び」の一体的な充実
～5年 天気を予想しよう（理科）～

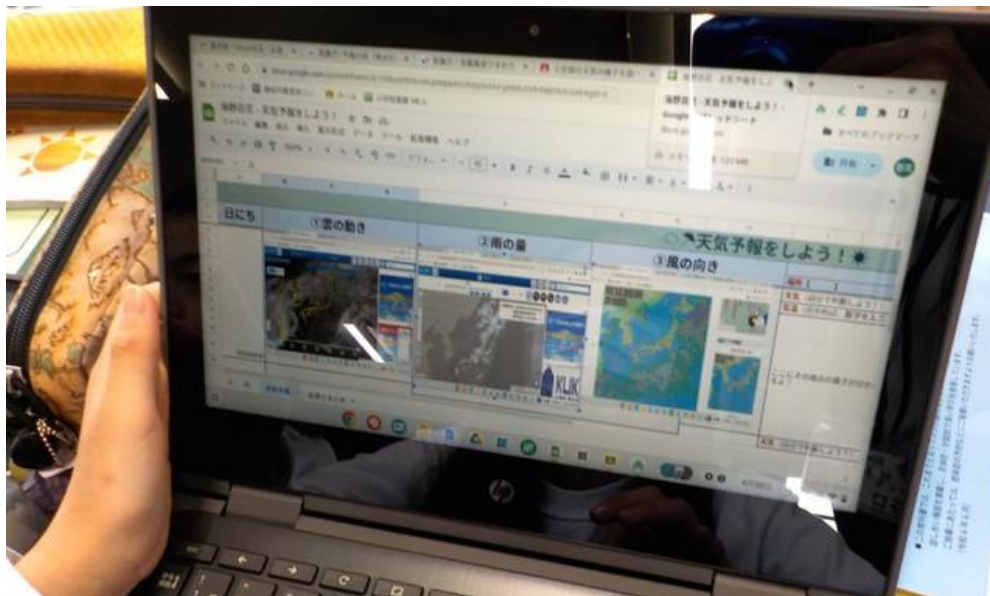
5年理科の様子です。

全国の中で場所を自由に選び、その地方の雲の動き・雨の量・風の向きから、天気を予想する学習です。

子どもたちは、そのデータとなる写真やグラフを探し、表の中に貼り付ける作業をしていました。

データを見つけ出し、つなぎ合わせて予想し考える学習は、思い付きではなく自分の考えの根拠をはっきりとさせ、説得力をもって相手に伝えるために欠かせない学びとなります。

根拠をきちんともつことで、子どもたちは「天気がどう変化するか友達に伝えたい」という思いをもち、自分から発言し関わっていく協働的な学びへと自然と移行しました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

【取組内容】① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
～6年 記録用紙で「比較」し、協働的な学びへ（理科）～

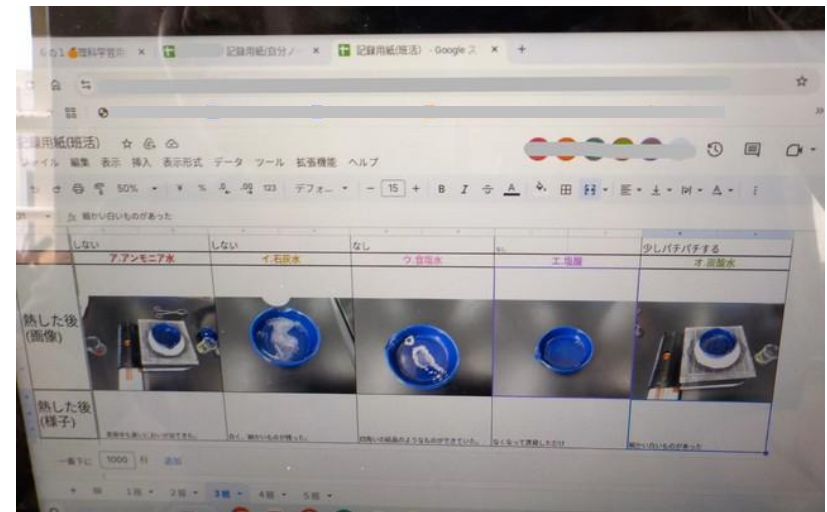
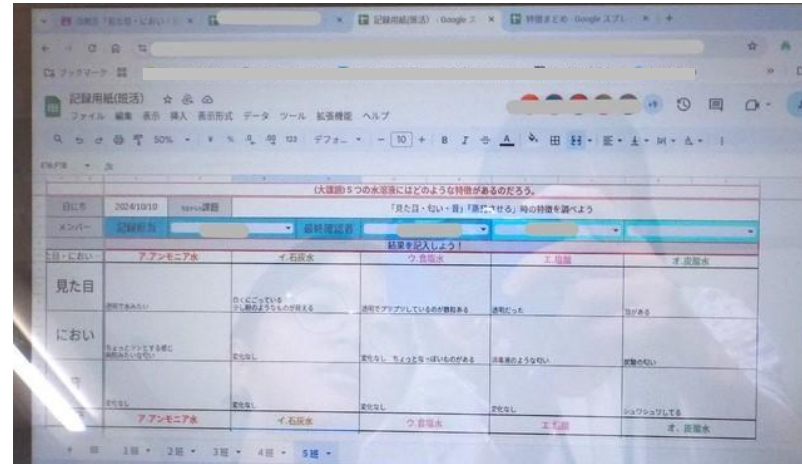
6年生は、理科で5つの水溶液の特徴について実験を行いました。

スプレッドシートで記録用紙を作り、班ごとに「見た目」「におい」などの特徴を書き込みます。

下へスクロールし、実験結果の写真を1人1台端末で撮り、貼って書き込めるようになっていきます。

水溶液の実験前と実験後、水溶液の種類ごとの違い、班の実験結果の違いなどを、即時共有することで「比較」することができるため、「個別最適な学び」「協働的な学び」どちらでも強力なツールとなりました。

子どもたちは、違いや変化にすぐに気づくため、意欲的に意見を出し合い協働的な学びを自分たちで進めようとし、授業に取り組む姿勢が日を追うごとに変化していききました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

【取組内容】① 個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
～5年 跳び箱オリンピック：「学び方を教える」（体育）～

自分の練習したい課題を選択し、練習場所や練習方法を考えて活動に取り組んでいます。

「知識・技能」のルーブリックをそれぞれの技ごと「金・銀・銅」で設定し、自分たちで評価しやすくしています。いきなり難易度の高い技を行うことは危険なので、自分の出来そうな技からチャレンジするように教師は声をかけます。

しかし、個別での活動では、どうしても一人で黙々とする活動や、意味がよく把握できずにひたすら練習を続ける等偏りが見られます。

そこで教師は全員を集め、「Aさんが開脚跳びが出来ないで困っているけれど、みんななら何と言ってアドバイスする？」と関わりました。「踏み切りでもっと強く！」「手の着く場所が手前」と具体的なアドバイスが挙がることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。「個別最適な学び」を充実させるためには、「学びの答えを教える」のではなく、「学び方を教える」ことがとても大切であり、そのためのルーブリックの必要性和教師の出番について考えさせられた事例となりました。

名前 駒形太郎 0 - レディネア選手 0 = 0

※各選手、見てもらってOKをもらった後にチェックをしよう。チェックは1つの欄に1つだけだよ！

技名	金	銀	銅	合計
1. 開脚跳び	20	15	10	45
2. 開脚跳び	20	15	10	45
3. 開脚跳び	20	15	10	45
4. 開脚跳び	20	15	10	45
5. 開脚跳び	20	15	10	45
6. 開脚跳び	20	15	10	45
7. 開脚跳び	20	15	10	45
8. 開脚跳び	20	15	10	45
9. 開脚跳び	20	15	10	45
10. 開脚跳び	20	15	10	45
11. 開脚跳び	20	15	10	45
12. 開脚跳び	20	15	10	45
13. 開脚跳び	20	15	10	45
14. 開脚跳び	20	15	10	45
15. 開脚跳び	20	15	10	45
16. 開脚跳び	20	15	10	45
17. 開脚跳び	20	15	10	45
18. 開脚跳び	20	15	10	45
19. 開脚跳び	20	15	10	45
20. 開脚跳び	20	15	10	45

今日の振り返り

項目	達成状況	達成方法	達成度	達成理由	達成コメント
開脚跳び	達成	マットの上で開脚跳びを練習した	達成	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。
開脚跳び	達成	マットの上で開脚跳びを練習した	達成	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。
開脚跳び	達成	マットの上で開脚跳びを練習した	達成	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。	開脚跳びの練習方法を教えることで、自分の練習方法を立ち止まって見直すことができました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

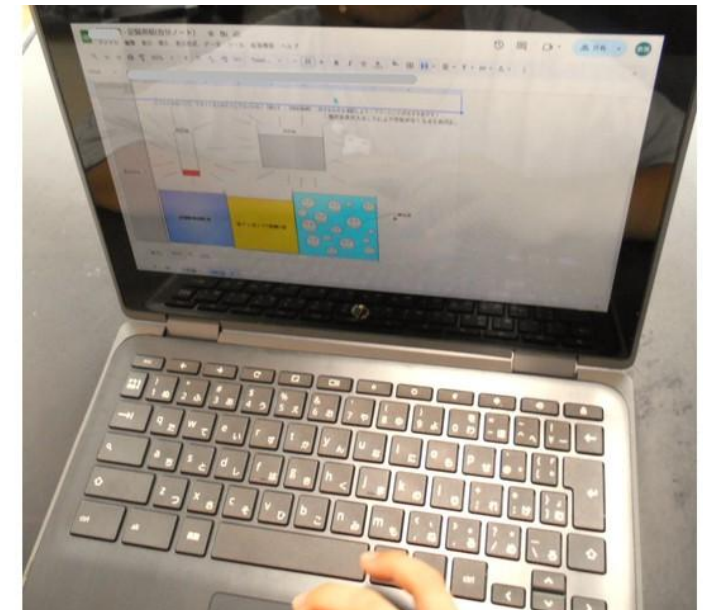
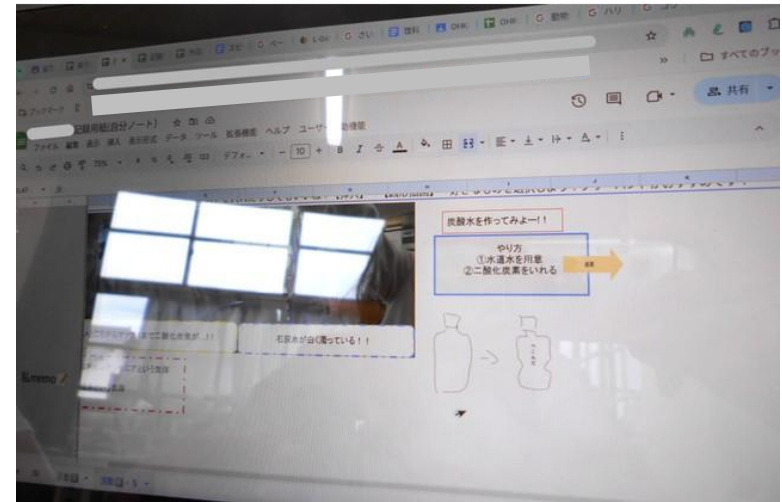
【取組内容】① 個別最適な学びと「協働的な学び」の一体的な充実
～6年 理解したことを「思い通りに」まとめ、知識の定着へ（理科）～

6年生は、理科「水溶液の性質」で、学習を進めながら分かったこと＝「スッキリ」、新たに生まれた疑問＝「モヤっと」として個々で表出し、一覧にして「モヤっと」の部分をさらに実験を行い追究していききました。

この日は、炭酸水に溶けている気体が二酸化炭素と分かったけれど、どうやって溶かしているのか疑問を持ち、実験を行っていました。さらに、炭酸水ができる過程でペットボトルがなぜへこむのか等、新たな疑問も生まれていました。

子どもたちは、これらの学びのサイクルの中で理解したことを既存のワークシートではなく、「自分がまとめたいように」スプレッドシートにまとめていきました。

写真を貼って説明したい子、図に描きたい子など、自分のまとめ方で表現することで、理解したことが確かな知識として定着していききました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

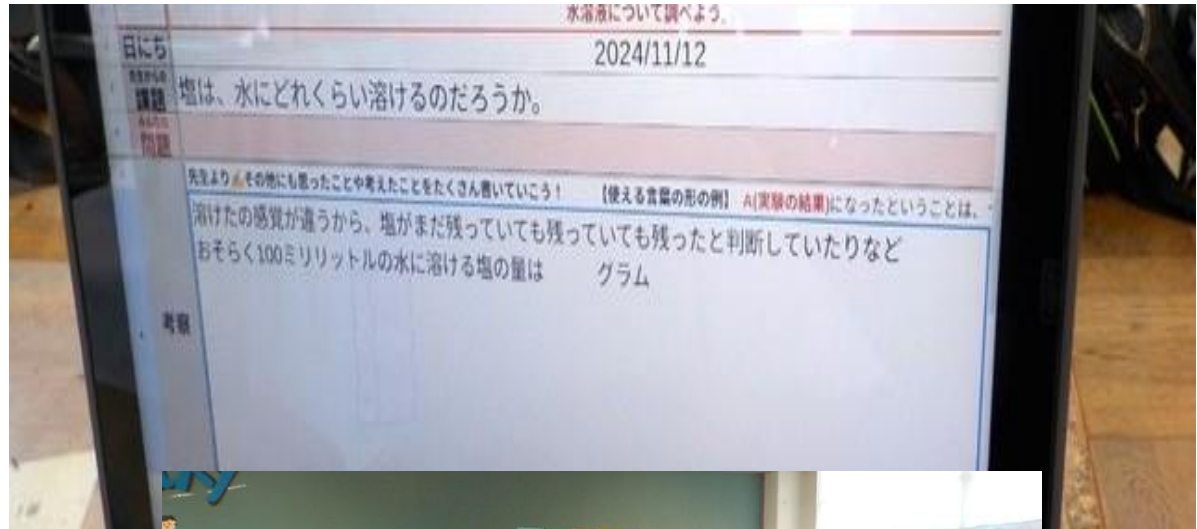
【取組内容】① 個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
～5年 考察を書く力を身に付けよう（理科）～

5年生は、理科の実験後に考察を「自分ノート」としてスプレッドシートにまとめていました。

どのような形の文で書くと自分の考えが伝わるのか、記入する部分の上に「型」を示し、どんな内容を入れるとより詳しい文になるのか、ヒントを示しておくことで書けるようになっていきます。

子どもたちが自ら学びを進めるうえで、この「型」のようにヒントを視覚化しておくことも、発達段階に応じて有効です。

積み重ねていくと画面上で比較することができるので、子どもたちは自分たちの考察の書き方が上達していく実感を得ることができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

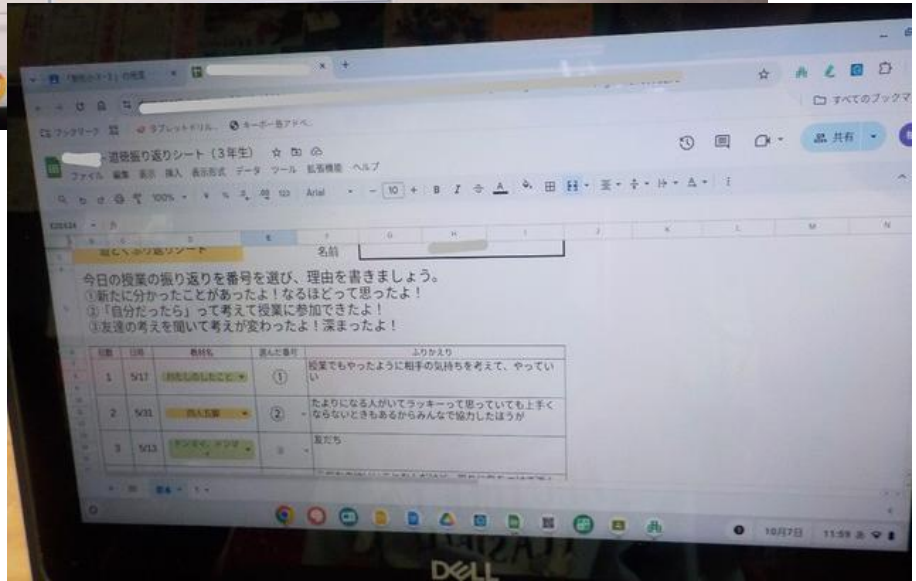
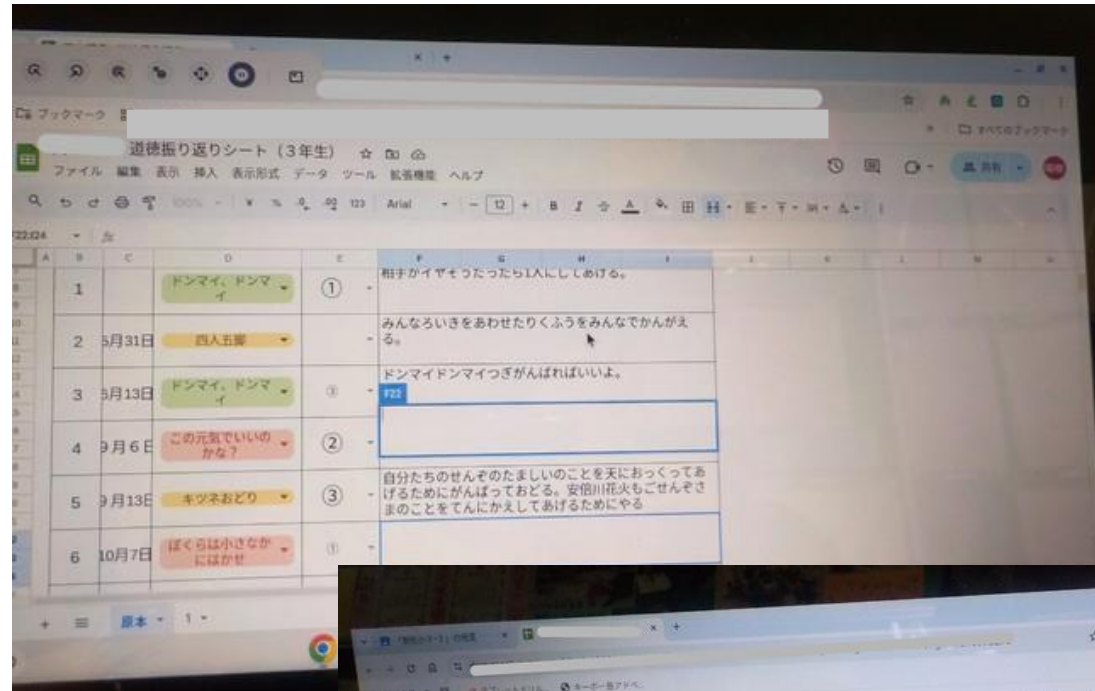
【取組内容】① 個別最適な学びと「協働的な学び」の一体的な充実
～5年 考察を書く力を身に付けよう（理科）～

3年生は、道徳の授業を行うたびにスプレッドシートに振り返りを書いていきました。

道徳の評価に照らしあわせた振り返り番号を自分で選び、文を記入していきます。

自分自身との関わりの中で深めているか、多面的・多角的な見方へ発展しているかという評価の視点で教師は見取ることができ、子どもたちも自分の成長を確認することができました。

また、積み重ねていくことで、子どもたちは道徳的な価値を踏まえた考えを発言しようと変化していきました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

【取組内容】②「本×学校司書×ICT」で読み聞かせの練習をしよう（2年）

2年生は、1人1台端末を使って読み聞かせの練習をし、1年生に本の紹介をする活動を行いました。

学校司書から読み聞かせのコツを聞いた子どもたちは、音読の練習の中で、1人1台端末を使って録画することで、聞き手の立場で客観的に見ながら積極的に自分の読み方を修正していききました。

その結果、学校司書からは「各グループの良いところをたくさん見つけたよ。」とほめてもらい、自信につながりました。

録画機能や学校司書からのアドバイスをもとにさらに練習し、1年生に読み聞かせをしてあげられるようにがんばる姿が後日見られました。

この取組は、静岡市教育センター学校図書館支援室が発行している「ビブリオテックshizuoka」に掲載されました。

本×ICTのベストミックスを進める

ビブリオテック shizuoka 第11号 2024.6月
静岡市教育センター
学校図書館支援室

本×ICTの
ベストミックス
学校図書館支援
室から最新情報
をお伝えします

駒形小学校 2年国語
「お気に入りの本をしようかいしょう」
クロームブックを使って読み聞かせの
練習をし、1年生に本の紹介をします。
紹介したい本が決まったら、学校司書
が読み聞かせのコツを伝えます。
①「」の前を1秒あける
②大きな声で読む
③かわいい声は高い声で、こわい声は
低い声でなど工夫する
コツを聞いた子どもたちは、それぞれ
音読の練習を始めました。
そして、いよいよクロームブックを使っ
て録画します。
子どもたちは、1年生にしっかり伝え
ようという気持ちをもって、友達と相談
しながら意欲的に取り組んでいました。

**クロームブックを使って練習し
1年生に読み聞かせをしよう**

リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

【取組内容】③B 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実
～夏休みの生活計画表の作成～

夏休みの間、高学年はスプレッドシートで作った生活表を使っていました。

タグが3つあり、1ページ目には学習・運動・生活の3つの目標や、一日のタイムスケジュールを書き込みます。

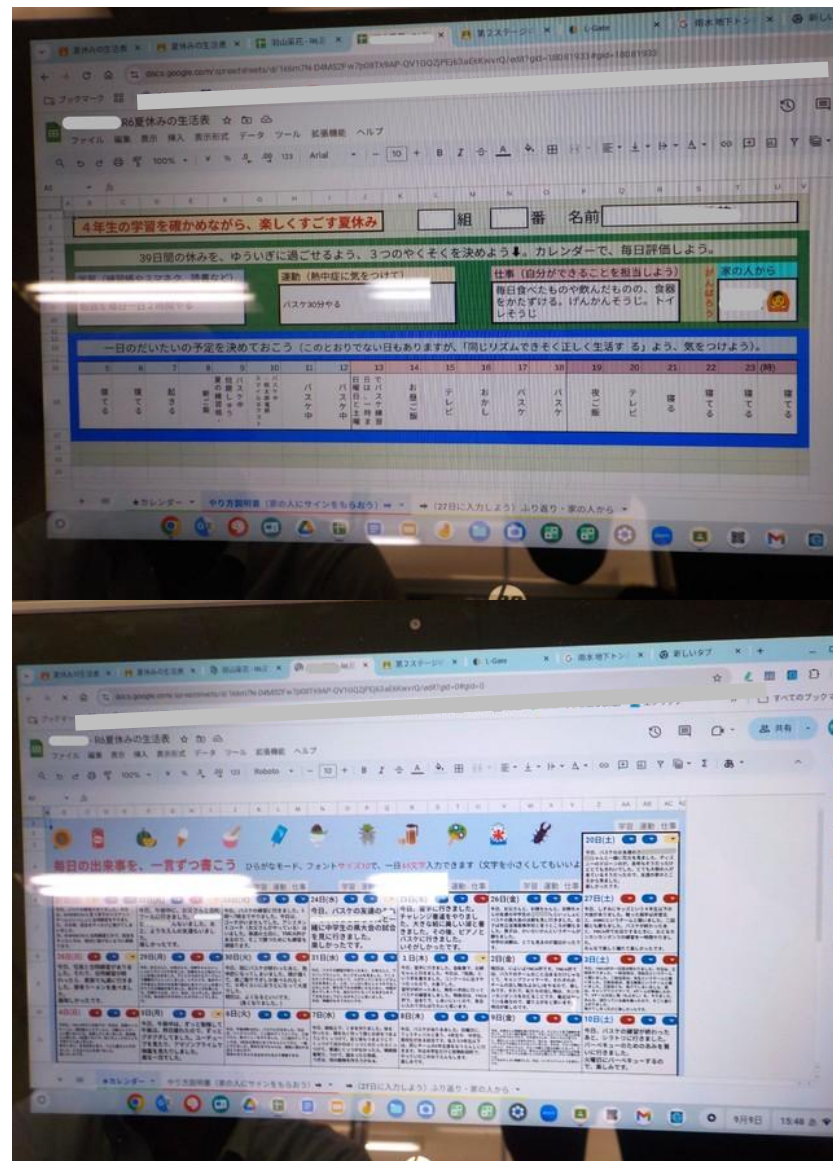
2ページ目には、3つの目標について青は「できた」、黄色は「言われてできた」、赤は「できなかった」の3色で表示し、日記を毎日書き込めるようにしてあります。

最後のページは、振り返りと家の人からの言葉を記入できるようにしてあります。

1枚の紙の計画表の場合、紛失したり破れたり、また裏と表を交互に見なければならなかったりと不便です。特に、配慮が必要な子にとっては「紙に、狭い範囲に鉛筆で書く」という活動はハードルが高く、モチベーションが下がりがちです。

しかし、この計画表ならそのような心配はいりません。

子どもたちは、この計画表を使い、日々の振り返りを通して自己調整しながら長期の休みを過ごすことができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡市）指定校

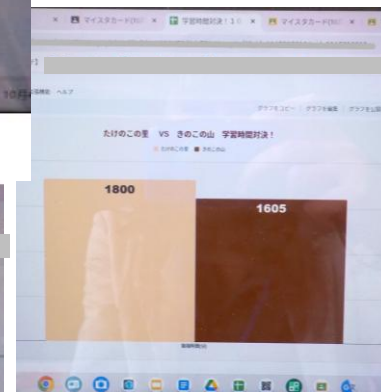
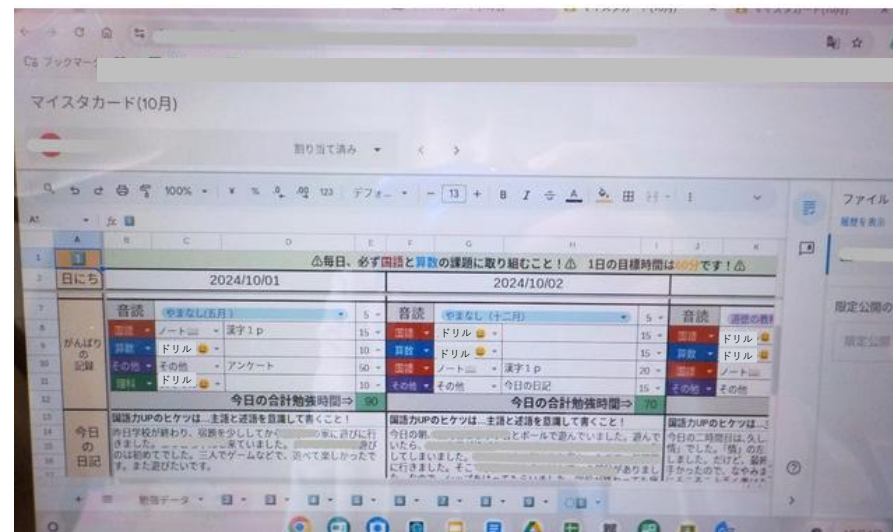
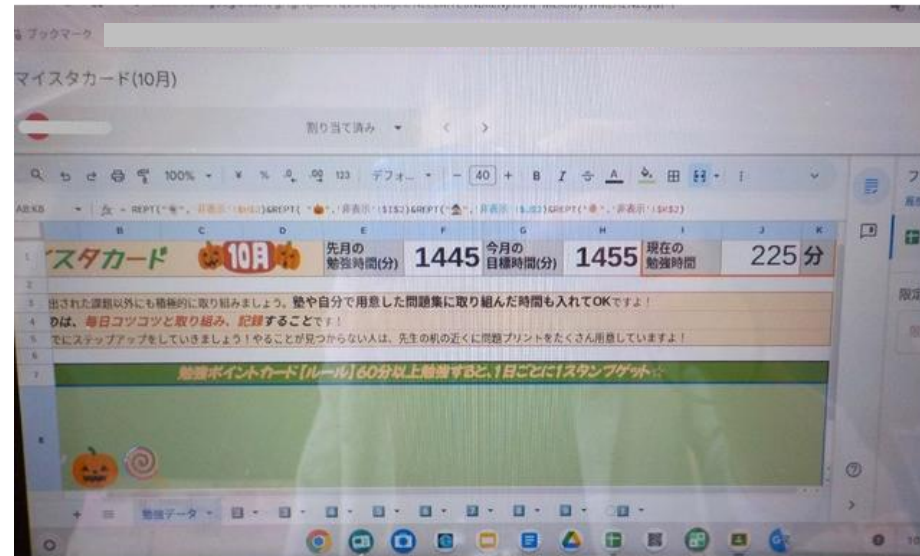
【取組内容】③B 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実
～6年 モチベーションを上げよう（音読学習カード）～

6年生は、日常の音読学習カードで目標の学習時間を設定し、その隣りに今月の勉強時間の累積が数字で出るようになっていきます。

下へスクロールすると、日記、保護者のコメントや教師の返信が記入できるようになっています。

ここに工夫を加え、クラスを2チームに分けてチームごとの累積勉強時間を視覚化し、勉強に向かうモチベーションを上げられるようにしました。（個々の勉強時間は表示されないので安心です。）

子どもたちは、自分たちのチームの時間を伸ばそうと自然と競い合うようになり、机に向かう時間が長くなりました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

静岡市立駒形小学校（静岡県）

【取組内容】④校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組
～集団下校時の情報即時共有／ 学校行事期間中の特別教室予約表～

大雨が下校時間帯まで続くことが予想される日、本校は担当職員が付き添う集団下校を行います。

下校前に迎えに来た方や子どもの待機場所の変更等はGoogle chatで地区別の教室で待機している教職員の一人一台端末に配信し、名簿と照らし合わせてすぐに人数確認ができるようにしました。



下の写真は「特別教室予約表」です。運動会当日が近づいてくると、運動場や特別教室の使用や変更が活発に行われます。

そのため、普段は週報と合わせて表示している職員室の大型モニターに、「特別教室予約表」をより大きく映し出しています。

学年色によって色分けしてあるので見やすく、急な変更時にもこのモニターに接続してある端末でプルダウンのところを操作するだけなので、すぐに共有できとても便利です。担任は使用場所の確認を行い、スムーズに授業に取り組むことができました。

施設	1	2	3	4	5	6
体育館	8:20-8:45	8:50-9:35	9:45-10:30	10:40-11:25	11:35-12:20	13:05-13:35
運動場	2名	1名	1名	5名		
パソコン室						
図書室						
理科室	4年2組	4年	4年1組	5年		
家庭科室	5年	6年	4年2組	1年	2年	
図工室						

施設	1	2	3	4	5	6
体育館	8:20-8:45	8:50-9:35	9:45-10:30	10:40-11:25	11:35-12:20	13:05-13:35
運動場	2名	1名	1名	5名		
パソコン室						
図書室						
理科室	4年2組	4年	4年1組	5年		
家庭科室	5年	6年	4年2組	1年	2年	
図工室						
体育館	8:20-8:45	8:50-9:35	9:45-10:30	10:40-11:25	11:35-12:20	13:05-13:35